

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-750	13-028	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門
題名 (原題/訳)		
<p>Effects of wine, alcohol and polyphenols on cardiovascular disease risk factors: evidences from human studies. 循環器疾患危険因子におけるワイン、アルコールおよびポリフェノールの影響：ヒトを対象とした報告</p>		
執筆者		
Chiva-Blanch G, Arranz S, Lamuela-Raventos RM, Estruch R.		
掲載誌		
Alcohol Alcohol. 2013 May-Jun;48(3):270-7. doi: 10.1093/alcalc/agt007		
キーワード		PMID
ポリフェノール, ワイン, 循環器疾患危険因子		23408240
要 旨		
<p>目的： 過剰なアルコール摂取は有害であるが、適度な飲酒は循環器疾患危険因子と負に関連している。また 20 年前のフレンチパラドックスにみられるようにアルコールの種類と循環器疾患の関連にも注目が集まった。しかしながら、ワインの循環器疾患への保護的作用はアルコールによるものか、ポリフェノールによるものかは明らかになっていない。そこで本研究ではポリフェノール含量が異なる種類のアルコール飲料の影響を分析し、適度なアルコール摂取による心血管系への良い効果に注目した。</p> <p>方法： 2000 年から 2012 年の適度なアルコール摂取および循環器疾患に関連した臨床研究かメタ分析の報告を、PUBMED を用いて抽出し概説した。</p> <p>結果： 大量飲酒や過剰飲酒は明確に罹患率と死亡率に関連した。適度な飲酒、特にワインやビールのようなポリフェノールを多く含むアルコール飲料は、循環器疾患既往のある者、健常者でさえも心保護的な効果を与えるようにみえた。</p> <p>結論： ワインおよびビール(特に赤ワイン)は、それらのポリフェノールの内容のために蒸留酒より大きな心血管の保護を与えるようにみえる。しかしながら、アルコール摂取を推奨する場合は、一緒に過剰飲酒の有害情報も与えるべきである。</p>		